

ザ・特定行為実践

第5号
2023年9月 作成
特定行為研修室 発行
森永:PHS3126

石川 智也：
所属部署 集中治療室

修了した特定行為

研修：2022年3月修了

呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は、経鼻用気管チューブの位置調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症に対する輸液による補正
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整



2015年に集中ケア認定看護師の資格を取得し、2021年秋コースにて特定行為研修を受講しました。現在は、集中治療室で勤務しながら、研修で学んだフィジカルアセスメントや臨床推論の知識や技術を駆使しつつ医師と協議のもと特定行為の実践を行なっています。私の実践した特定行為のベスト5はこちらです ↓ ↓ (2022/4～2023/6)

No.1	侵襲的陽圧換気の設定の変更	98件
No.2	橈骨動脈ラインの確保	68件
No.3	人工呼吸器からの離脱	45件
No.4	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	27件
No.5	直接動脈穿刺法による採血	20件

「見守り隊」として院内の活動も横断的に実施しています。患者さんの変化に早期に気づき、対応できれば、急変に至らず入院生活が送られます。また、クリティカルケア(人工呼吸器の看護・術後管理・早期離床など)が必要な患者さんに対して適切なケアが実施できることで社会復帰が容易となり、入院前のADL・QOLに近いまま退院できる可能性が高まります。

「何か変」「よく分からない」と思ったら**「3251 (見に来て!!!)」**へご相談ください。

現場の医師や看護師の方々のご理解とご協力のもと無事に特定行為を修了することができました。感謝の気持ちを忘れず、安全かつスムーズな医療の提供ができるように今後も自己研鑽に努めていきますのでよろしくお願いいたします。

基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願い致します。

特定行為や研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、特定行為研修室担当 森永までご連絡ください。